

第4回定例市議会行政報告から

機能的な街づくり・港づくり

さる12月8日招集された〈第4回留萌市定例市議会〉で、原田市長は、46年中に施行された事業の完成や進行状況を報告した。

わたくしたちの街〈るもい〉を明るく、暮らしやすい街に、そして豊かな経済をうるための施設づくりなど、その工事は港をはじめ、各地域で急ピッチに進められてきました。

留萌にも目新しい施設や建物がまた増えました。

もうすでに完成したものの、47年に続く工事などもあります。その主な物を紹介するとともに、より機能的な留萌の街づくりが進むことを、ことしも見守ってください。

■副港埋立土地造成工事

二年目を終えた同工事は、十一月三十日で四十六年分を完成、総工事の半分を終えました。護岸工事として鋼矢板を二百二十二戸、仮排水工事二百三十二戸などが完成され、本年度は土砂運搬をし、全工事が終了予定です。

■駅前都市計画は90%を完了

さる四十三年から継続実施されてきた〈駅前地区土地区画整理事業〉は、市道早道通りなどの改良舗装を始め、街路歩道二百二十四戸の舗装、二十七戸の家屋移転などを完了し、四十六年度事業分の九十%を終了しました。

■着々進む公園整備

●幸町公園の整備 四十四年に用地を取得した幸町公園(旧留萌タイムス社跡)は、昨年百万でスベリ台、ジャングルジムなどを敷設して完成、これで市内には、公園遊園地を含めて十九カ所の公園が整備されました。また、公園用地の取得については、沖見町四あかしや公園の〇・二ha、明元町四若草公園〇・六haの用地取得の見通しがつきました。

古丹浜貯木場



《道路舗装率は19%に》

明るく住みよい街づくりには、なんといっても、市民の方の環境づくりを進めなければなりません。昨年度が行なった土木工事は、道路の新設改良、補修などがあります。ちなみに道路の新設改良だけでも三千六百六十戸、十一路線の工事が行なわれています。

■四十六年の道路整備

●沖見通り線舗装工事四四〇戸、

同じく特改四種舗装工事四四〇戸 ●千鳥町・南町連絡線舗装新設工事五三二戸 ●北七条通り舗装新設工事二〇三戸、同じく二八八戸 ●南十丁目通り道路改良工事二九四戸 ●同じく舗道新設工事二九四戸 ●南記念舗装新設工事一六九戸 ●神居岩側道新設工事四八〇戸 ●北五条通り簡易舗装一七七戸 ●錦町仲小路通り簡易舗装工事一一七戸、 ●道路補修工事 西五線排水溝補修二九二戸 ●橋りょう新設工

●字名改正は四月以降に 原野〇線：など市民の方には通称と字名で困惑を招きましたが、目下面積百十五haについて、地番図調査を作成中で、本年四月には新町区域の決定を目標に作業が進められています。



一人一室を目ざす 公営住宅の建設

市では、一人一室を目ざし公営住宅の建設を進めています。四十六年には、一種、二種を含めて九十五戸が建設されました。四十六年では、次の地域に建設されています。

▽第一種(簡易耐火平家建)

幌糠町3DK三戸・2DK九戸、藤山町3DK一戸・2DK三戸、大和田町3DK三戸・2DK八戸

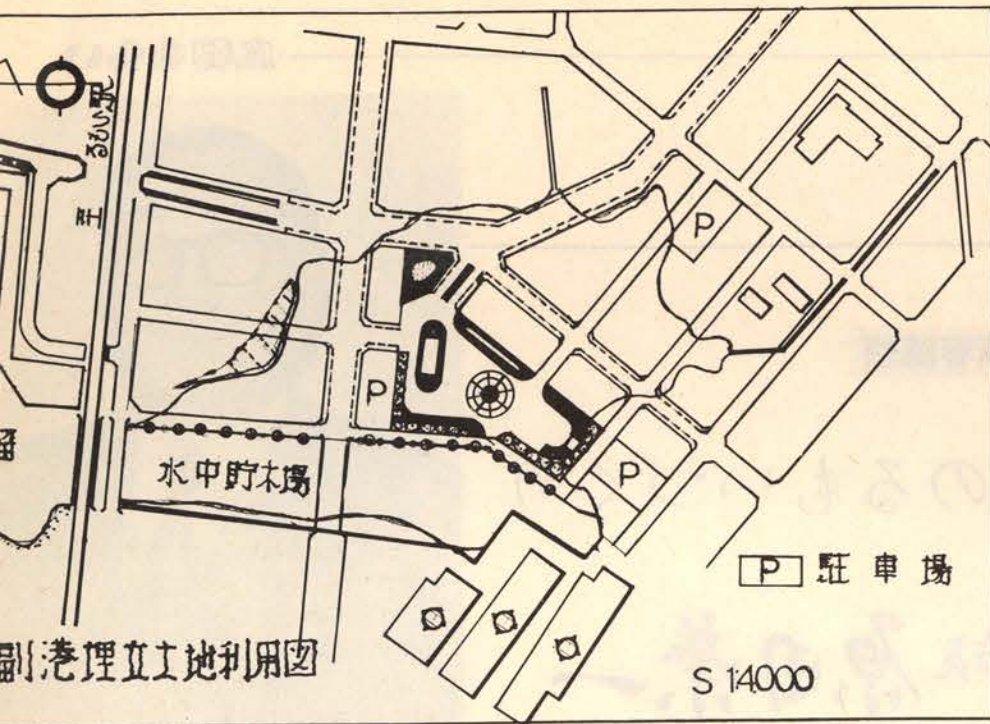
▽第二種(簡易耐火二階建)

沖見町3DK二戸・2DK四戸、●特低住宅 藤山町3DK一戸・2DK三戸、沖見町3DK六戸・2DK十八戸、旭町改良住宅2DK三十二戸、とくに、旭町改良住宅は、市でも初の四階建住宅です。

管内随一を誇る 留萌霊苑も完成

沖見町にあった留萌火葬場の老朽にともない、大和田町に、さる九月十五日留萌霊苑が誕生しました。

この霊苑も、本年から年次計画をもって周辺に植樹、花壇、駐車場などの整備を進めます。また、旧火葬場は、本年解体整理をし、現在の墓地を拡大し、将来は墓地公園化を進める予定です。



埋立後の副港は、上図のように街路整備がされます。

《漁船だまりとして東岸を整備》

商業港として躍進する留萌港づくりは、年々その整備が進められています。

漁船の専用船溜りを東岸に造成、四十五年から作業が進められてきたが、いよいよ本年には完成します。

この船溜りが完成することにより、留萌港のレイアウトもすっきりし、用途別パスが整備されるわけです。完成後は、背後には物揚場、漁業専用施設などが整備されます。



東岸船だまりと背後道路

